

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	しあわせ駅須恵		公表日		令和 7年 1月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		建物が広く、部屋数に対して職員が足りない時があります。状況に応じて、部屋の利用を制限しながら対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			学校送迎が重なると、手薄になる時間帯があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		過ごしやすい空間を心掛け、日々環境整備に取り組んでいます。	駐車場から玄関までの石段が、肢体不自由の方にとっては不便だと感じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		過ごしやすい空間を心掛け、日々環境整備に取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静かに過ごせる個室もあります。	一度に数名が個室を希望すると、優先順位を決めかねたりすることがあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		常勤、非常勤に関わらず、皆が参画しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からのご意見等があれば、その都度改善の努力をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見等があれば、その都度皆で検討するようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		地域主催の研修会には積極的に参加するようにしています。又参加できなかった職員に対しての共有もしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員の意見を踏まえて計画を作成しています。こどもの強味を活かせる内容になるよう心掛けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールをもとに、一人一人に合わせて適宜改良しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		今年度からの「本人支援」では5療育における各支援に沿って計画を立てています。研修を受けたり各方面からの情報収集をしたりしながら取り組んでいます。	具体的な支援を行うにあたって、スモールステップでの取り組みを多く設定しなければならないと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員全員で、活動プログラムを決めています。その日の状況を考慮し、急な変更にも対応できるように協力し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の活動では、子ども達個々の希望が取り入れられるように遊具・教材・環境の準備をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			集団が苦手なこどももいるため、外出活動の計画は慎重に立てています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼・昼礼・終礼・LINE・連絡ノートなどを活用して情報共有や役割分担をしています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		報連相を心掛けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年2回のモニタリングを行っています。個別活動については、日々、目標の達成具合を報告しあっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		本人支援として、5領域を意識するとともに基本活動も視野に入れながら支援しています。	今後は、希薄となっている「地域交流の機会の提供」に力を入れたいと思います。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自ら活動の時間や内容を決める場面を設定しています。	自己で選択・決定をした事に対して、責任を持ち行動できるような支援を意識しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			医療機関とは直接の連携は行っていません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校とは、ケース会議や送迎時、保護者を通して情報共有を行っています。トラブルが発生した場合は、協力体制を取って対処しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者や相談支援事業所を通して、情報を頂いています。	地域の研修などで、児童発達支援事業所との繋がりを強めていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ実績はありませんが、対象者が出たら対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園や施設で他のこどもと交流することがあります。	放課後児童クラブや児童館との交流は計画していません。今後、考えていきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加するようにしています。参加できなかった職員に対しての共有もしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳、個別ノート、電話、LINEを使って情報提供をしています。必要と思われる時は直接お伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		茶話会の再開やクリスマス会、卒業会など家族参加型の活動を設ける計画を立てています。	日程調整、駐車場の問題などクリアしなければならない事柄があります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			こどもと家族のニーズが異なった場合、双方の意向を取り入れるのに苦慮します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の困りごとを感じた時には、電話をしたり訪問したりして対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		コロナ禍前にしていた茶話会の開催を計画しています。町の社会福祉協議会からのボランティア活動を受け入れる体制を整えています。	日程調整、駐車場の問題などクリアしなければならない事柄があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		真摯な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、通信をLINEで発信しています。インスタグラムも活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員は個人情報保護についての誓約書を交わしています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードを取り入れています。こどもの仕事や表情からも意図が読み取れるように心がけています。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		近隣の会社や農作業をしている方との交流を設けています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な訓練を行っています。	シフト制の為、役割分担を決めにくいです。皆が各役割を担えるような訓練が必要になります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬等については、随時保護者に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーに関しては保護者からの情報をまとめた一覧を作り、キッチンの定位置に掲示し、普段から確認できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		年に一度、保存版として避難先や緊急連絡先をまとめた通信を配布しています。台風や大雪時には早めの情報収集に努め、会社の指示のもとその都度対応をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内で虐待防止研修を行っています。特に言葉かけについて気を付けるように話合っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しあわせ駅須恵		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 1日	～	令和 6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 19
○従業員評価実施期間	令和 6年 10月 1日	～	令和 6年 10月 19日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 11月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内が広く、庭もあり、周辺の環境も良いと思います。	近隣の敷地に、落ち葉等が入りご迷惑にならないよう気を配っています。 又、事業所周辺の道路等の清掃も心掛けています。	より充実した活動ができるよう、庭の環境整備に力を注ぎたいと思っています。(花壇・畑・樹木・雑草・側溝・池跡・駐車場)
2	地域の公的施設の利用に努めています。 又、公的機関や近隣の企業との交流を図っています。	社会福祉協議会との関わりを大切にしています。遊具を借りたり、メセナシート(野球観戦)を申し込んだり、赤い羽根募金にも協力しています。 近隣の企業には、庭に咲いた花を届けたり、時節のご挨拶をして感謝を伝えています。 近隣の企業(コンビニ、運送業者等)にお願いして、ハロウィンイベントにご協力いただいています。	地域ボランティアの協力をお願いしていきます。 職員、利用者、保護者対象のネイルボランティアを依頼中です。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子ども達との交流が行なえていません。	他法人の放課後等デイサービスとの交流や、公共施設等で自然と交流が生まれることはあります。	こちらから放課後児童クラブ(学童)等へのアプローチを行う必要性を感じます。
2	保護者同士の交流を図る場を持っていません。	日程調整や駐車場の確保などに課題があります。	クリスマス会や卒業会などは、保護者だけでなくきょうだい児との交流も持ちたいと考えています。 行事に限らず、いつでも気軽に遊びに来てもらえる環境作りをしていきたいと思っています。
3			